

令和6年1月17日

訓子府町議会議長 山田日出夫様

産業建設常任委員会

委員長 余湖龍三

所管事務調査報告について

地方自治法第109条第2項の規定に基づき所管事務調査を実施したので、その結果を報告します。

記

1. 調査期日 令和5年 5月25日、8月9日、9月14日、10月17日
11月6日
令和6年 1月17日

2. 調査所見

- (1) 農業振興については、事業効果があり評価します。保全会と行政とのより密接な連携が必要。本事業を超えるような場合は、行政対応にも配慮願いたい。担い手不足も含め、地域の実情に応じた保全会事業のあり方の検討を望みます。

多面的機能支払交付金事業については、計画どおり事業が円滑に進むよう予算確保を望みます。

有害鳥獣駆除対策については、被害を最小限にとどめるため、くくりわなの活用など猟友会との連携を引き続き望みます。

新規就農者支援助成金事業及び農業次世代人材投資資金の実施については、就農した人が定着し、農業経営が安定するよう支援対策に努めてほしい。

農地の流動化及び農業担い手対策については、将来の訓子府農業の多様性を見据えた農地流動化を進めるため、適切なあっせんに努めてほしい。担い手対策については、対象者個々の意思等を十分に把握して新しい取り組みを望みます。

特産園芸作物の支援策については、今後も生産者の声を聞き、関係組織と連携し、特産園芸作物の振興を望みます。

- (2) 畜産振興については、利用者の声を聞きながら、利用拡大と安全な管理体制の充実を望みます。また、畜産クラスター計画と課題については、町内酪農家の声を聞きながら、各種要望等の採択に向け努めてほしい。

(3) 中小企業の振興については、住環境リフォーム促進事業について、事業の効果は大いに評価します。募集の仕方及び業者の決め方について改善に努めてほしい。

商店街活性化事業については、事業の効果は大いに評価します。需要に応じた事業の継続を望みます。

就労助成金事業及び後継者育成助成金事業については、さらなる事業の周知に努め、事業の継続を望みます。

(4) 堆肥の生産と供給については、利用者の要望に応じて堆肥供給センターでの生産に努めてほしい。

(5) 温泉保養センターの管理運営については、適正な施設管理を続けるとともに利用者拡大に向けて努めてほしい。また、利用者の声を聞きながら、適正な維持管理を望みます。

(6) 町営住宅及び町有住宅の維持管理については、町営住宅等使用料の収納について、今後も徴収への努力を望みます。滞納者については関係部署と連携をとり、総合的な対応に努めてほしい。また、改修計画及び政策空き家については、今後の入居状況を考え、改修・転用・解体を適切に行うことを望みます。

(7) 建築及び土木工事の執行については、契約に基づき適正な施工に努めてほしい。なお、契約上不適切な事例が発生しないよう努めてほしい。

(8) 下水道事業の運営については、改修の事業効果を認めます。今後の施設の健全な管理運営に努めてほしい。また、個別排水処理施設の設置については、引き続き計画的な設置を望みます。

(9) 上水道事業の運営については、漏水箇所の早期把握などにより、水の安定供給に努めてほしい。また、老朽管更新及び耐震化については、計画に基づく事業の円滑な推進を望みます。

(10) 道路・河川・橋梁の維持については、いずれも、災害に対応できる事業の推進に努めてほしい。なお、災害箇所の復旧については、現場に合った復旧を望みます。

(11) 公園の維持管理については、遊具の安全性の確保に努め、地域の声を充分に聞き、公園機能の充実に努めてほしい。

(12) 町有林の維持管理については、施業計画に基づき適正な維持管理に努めてほしい。

(13) その他委員会の所管に関する事項

① 随意契約の執行における発注について、業者の選定にあたっては町内業者の活用に努めてほしい。

② 商品券事業については、高い使用率があり、経済対策としての事業効果があるので、引き続き事業の実施に努めてほしい。

③ U I J ターンの推進については、移住、定住に向けた事業展開の工夫に努めてほしい。

④ 置き雪除雪事業については、予算及び業者の確保に努めてほしい。

⑤ 不良空き家等除却事業については、事業改善の効果をみながら、事業の推進に努めてほしい。

⑥ 町有車両の発注にあたっては、町内業者の活用に努めてほしい。

⑦ 地域おこし協力隊事業の推進については、課題を整理し、事業効果が上がるよう努めてほしい。